

活動レポート

2004年10月13日から15日の3日間に渡り、岡山さんは今後の六ヶ所村の防災・安全対策活動に役立てるため、北海道泊原子力発電所見学会に参加して来ました。見学会では、北海道泊原子力発電所、原子力環境センター、札幌市民防災センター、出光興産の4ヶ所を見学しました。今回は泊原子力発電所見学の様子をレポートいたします。

泊原子力発電所

六ヶ所村を出発した岡山さんは、北海道古宇郡泊村にある泊原子力発電所を見学しました。敷地面積約128万㎡の敷地内に、2基の原子炉を持つ泊発電所を見た岡山さんは、第一印象として「清潔できれいなところだな」と思ったそうです。

そして実際に施設内を見学してみると、厳重な入退域管理システムや、何重にも重ねられている大きな扉の数々に驚いたそうです。安全に、かつ周囲の環境を汚染する

ことの無いように、安全管理・放射線管理。岡山さんは、「これだけの管理がしっかりとなされているの

だからこそ、安全に発電することができるのだな」と感じたようです。

施設内には、発電に必要な施設のほかに、原子力訓練センターというものがあり、そこでは発電所の主な設備（ポンプ・モーター・弁・遮断器等）と同様のものが設置されていて、施設内で働いている保修員や運転員の各種訓練、関連技術者の知識・技能向上を図るための教育訓練を行うことができるそうです。

この施設で訓練することによって、発電所内で働く人たちのレベルアップが図られ、安全性・健全性を保ちながらかつ安定的に施設を稼動することができるのでしよう。

岡山さんは今回の見学中、案内して下さった方にたくさん質問をして、多くの知識を学んできたようです。

是非岡山さんにはここで得られた様々な発見を、再処理工場のある六ヶ所の今

後の安全対策活動に役立てていっていただきたいと思います。

保修員の訓練

原子力訓練センターに、ポンプやモーター、制御装置など発電所の主な設備と同様の機器が設置されており、保修員や関連技術者の知識・技能の向上を目的とした教育・訓練を行っています。



運転員の訓練

運営管理センターにある中央制御盤を模擬したシミュレータを使い、実際の発電所と同じ状況での運転訓練が繰り返し行われています。

また、泊発電所の運転員は、福井県敦賀市にある原子力発電訓練センターでも訓練を受けています。

